



Rotary District 2640 Japan

海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

2018-2019年 会長 山畑 弥生 幹事 中村 俊之 SAA 田岡 郁敏



インスピレーションになるろう

RI会長 バリー ラシン

第 1989 回例会

平成 31 年 3 月 25 日(月)

12:30～ 海南商工会議所 4F
 ゲスト卓話 海南税務署長 荒谷 和史 様

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「四つのテスト」
3. 出席報告
 会員総数 42 名 出席者数 17 名
 出席率 40.48 % 前回修正出席率 61.90 %

4. 会長スピーチ 会長 山畑 弥生 君

皆さん こんにちは！先
 ず始めに海南税務署長の荒
 谷 和史 様、お忙しい中、よ
 うこそお越し下さいました。
 後程、スピーチ宜しくお願
 い致します。

それから、3月21日(木)
 に開催致しました地区(第2
 分区)イーストクラブコンペ
 ですが、当初は大雨になるか
 と心配しておりましたが、時折小雨が降る程度で風
 が強かったものの暖かく、田辺東 RC7 名、御坊東 RC4
 名、ホストクラブである当クラブからは 17 名の沢
 山のメンバーに参加を頂き無事終了いたしました。
 コンペ幹事の寺下さん始め、皆さん、ご苦勞様で
 した。また、イーストコンペと同日にロータリー財団
 補助金管理セミナーが和歌山県 JA ビルで開催され
 ており、申し訳なかったのですが地区財団補助金小
 委員会の委員長でもある花田さんに一任致しまし
 ました。そして、昨日より花田さん、寺下さん御夫妻、
 奥さんの御家族7名でセブ島を訪問中ですので今日
 は欠席されていますが、27日帰国予定です。元気に
 帰国されますよう祈っています。

それでは、クラブ細則の変更についてお諮りした
 いと思います。改正案は既に皆さんに郵送でお届け
 しておりますので、ご存知かと思ひます。今回の改
 正は、標準ロータリークラブ定款との整合性を図り、
 推奨ロータリークラブ細則の文言に出来るだけ準
 拠し、クラブの柔軟性を導入した細則となっております

ます。特に委員会構成についてはクラブリーダーシ
 ュッププランや次年度の地区部門別会議などに沿っ
 た委員会構成にする為の改正でもあります。時間の
 都合上、変更されている主だった箇所だけ説明させ
 て頂きます。

【第1条】定義に定足数を追加記載

【第4条】役員に任務に会場監督の任務が記載され
 てなかったのを追加記載

【第5条】夜間例会は19時開催とする。

理事会は毎月開催する。(役員・理事各位の都合
 により日にちを調整して開催しているのが実状の
 為、第2水曜日に開催を削除)

【第8条第1節】委員会については、お手元にお配
 りしている委員会構成(案)をご覧ください

委員会構成(案)※クラブ細則9条改正(標準ク
 ラブ定款第3条第7節に準拠)

【第8条第4節】委員長は、委員会活動について活
 動内容や予算など重要な事項について事前に理事
 会の承認を得ると共に活動終了後は報告をしなけ
 ればならない。

尚、議事の順序については、慣例事項と共に内規
 扱いとする。説明は以上です。

ご質問、ご異議はございませんか？ないよう
 でしたら細則15条の「定足数の出席する任意の例会に
 おいて、出席会員の3分の2の賛成投票によって改
 正することが出来る」として、細則7条の「採決は、
 口頭でもって処理されるものとする」とありますの
 で、皆さんにお諮り致します。皆さん賛成と云うこ
 とで細則を変更致します。有難うございました。

5. 幹事報告 幹事 中村 俊之 君

○例会臨時変更のお知らせ

那智勝浦 RC 3月28日(木)→3月28日(木)
 12:30～ 旧グリーンピア南紀(花見)

4月4日(木)→3月31日(日)
 8:00～ 新宮市佐野体育館

(くろしお少年剣道大会)

和歌山 RC 4月2日(火)→4月2日(火)
 12:30～ 紀三井寺 はやし(お花見例会)

3月は水と衛生月間です

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか
- ②みんなに公平か
- ③好意と友情を深められるか
- ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002

海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)

TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail : info@kainaneast-rc.jp



ロータリー財団のグローバル補助金、ロータリアン行動グループ、米国国際開発庁 (USAID) とのパートナーシップによって、

ロータリーの水と衛生プログラムである「WASHプログラム」は、より効果的で持続的な変化をもたらしています。

「ロータリーの水と衛生プロジェクトはどれも、思いやりと善意で実施されていますが、その多くが地域社会の実際のニーズにできていなかったのです」と語るのは、「水と衛生のためのロータリアン行動グループ」の創設者で名誉会長の F. ロナルド・デンハムさんです。2007年に結成された同グループは、ニーズと持続可能性を重視しています。

過去には、設備や施設が適切に設置され、人びとからも良い反応がありましたが、地元住民の当事者意識、教育、持続可能性が欠けていたことがありました。また多くの場合、地域社会が自立して長期的にプロジェクトを管理するのに十分な支援がありませんでした。

持続可能性の障壁の一つは、人的支援への継続的なニーズです。

ロータリー会員は、もともとボランティアです。「誰でも同じように、ロータリアンにも仕事や家族という優先があります」とデンハムさん。デンハムさんはこれまで 30 年以上、クラブと協力して水と衛生の問題に取り組み、エチオピア、ガーナ、インド、ケニア、ウガンダでプロジェクトを指揮してきました。

また、地元の改善に取り組むロータリー会員について次のように話しています。「プロジェクト実施地側のクラブにとって、例えば、長期間 WASH プロジェクトを管理するのは大変です」。これは、複雑な技術的要素が必要とされる時に特に当てはまります。「私たちは力を尽くしていますが、援助を必要としています。成功には、外部に支援を求めることが不可欠です」

地域社会のかかわりと当事者意識

今日、プロジェクト成功のカギは、補助的なリソース、資金、技術、人脈、文化に関する知識といった専門知識を提供する団体との協力にかかっています。「クラブは、地域社会とそのリーダーや専門団体と密着して活動する必要があります」とデンハムさん。「またさらに重要なのは、地域社会のニーズを理解することです。地域社会に何が 필요한のかを憶測で判断してはなりません」

ロータリー財団は長年の活動を通じて、長期的な変化をもたらすには地域社会の関わりが極めて重要であることを学びました。現在、他国で実施する一部のプロジェクトでは、補助金を申請するクラブに対し、プロジェクトの計画に地元住民が関わった

ことを証明することを義務づけています。

取り組む課題を選び、地元で利用可能なリソースや解決策を判断し、長期的な管理計画を作成するには、地域社会の参加が必要とされます。

いずれ地域社会の人びとが自力で継続していなければならない、そのプロジェクトは成功したとは言えない、とデンハムさんは話します。

2010年、デンハムさんの所属クラブ、トロント・エグリントン・ロータリークラブ（カナダ、オンタリオ州）は、安全な水が不足するケニアの大地溝帯での水と衛生プログラムの主要な援助国側パートナーとなりました。



計画段階における地下水の試験で高いレベルのフッ化物が計測されると、援助国のクラブは計画を変更し、浅い掘削孔を掘ることにしました。これまでの経験から、雨水を貯水する方がより安全な方法だとわかったからです。

実施国側のクラブ、ナクル・ロータリークラブ（ケニア）は現在、各家庭で 1 万リットルの貯水タンクを設置するための資材を提供し、その設置方法を教えています。その作業と管理を行うのは各家庭です。50 ドルの投資で、家族が乾季を乗り切るのに十分な水を貯めることが可能となります。

現在までに、このプロジェクトを通じて 3 千基以上の貯水タンクの設置に資金が提供され、およそ 28,000 人が安全な水を利用できるようになりました。これまでは、家族の誰か（その多くは女性や子供）が水をくむために 1 日に何キロも歩かなければなりませんでした。もうその必要はありません。

貯水タンクを所有した女性たちは、新しい家庭の姿を思い描けるようになりました。また、ロータリークラブを通じて利用している小口融資のおかげで、母親たちは水くみではなく、小事業を営み、収入を得られるようになりました。

「貯水タンクは、母親だけでなく子供たちにも自由をもたらしました。今では、子供たちは学校に行く時間の余裕ができました」とデンハムさんは説明します。

水と衛生に関する教育指導

衛生施設の設置だけでは、WASH プロジェクトの長期的な成功は望めません。健康的な習慣を定着させることも重要です。適切な衛生習慣によって、コレラ、赤痢、肺炎などの病気を 50 パーセント近く減らすことができます。石鹸を使った手洗いで命を救うことができます。

